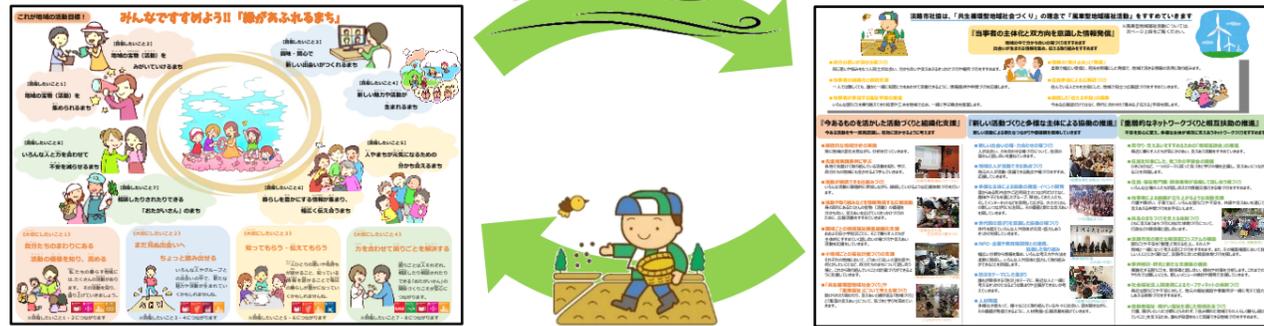


風車型地域福祉活動って？



「ありたい地域」という地域の夢や思いが風となって、その実現のために「当事者の主体化」「双方向を意識した情報発信」を軸とした風車がまわりはじめ、その活動過程によって生まれた「ふくしの種」を地域に種まきし、新たな共生や循環を生むきっかけづくりをすすめていきます。

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

SDGs（エスディーズ／持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、「誰一人取り残さない」という誓いのもと、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、17の目標で構成されています。

市民のみならずがともに支えあい、いつまでも安全・安心なまちで暮らし続けられるような地域をつくるために地域福祉活動に取り組むことで、国際目標であるSDGsの一部とつながるものと考えています。

第三次計画では、「1 貧困をなくそう」「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「8 働きがいも経済成長も」「10 人や国の不平等をなくそう」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任つかう責任」「16 平和と公正をすべての人に」に関連しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



淡路市社会福祉協議会 第三次地域福祉推進計画

えん「縁」があふれるまち推進プラン

計画の本編・詳細をご覧になりたい方は、淡路市社協ホームページ、または淡路市社協本部・各支えあいセンターまでお問合せください。

編集・発行：社会福祉法人 淡路市社会福祉協議会

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 3119-1

TEL：0799-62-5214 FAX：0799-62-5503



えん「縁」があふれるまち

人と人、人と地域など、いろんな主人公が会い、ふれあい、広がっていくような、そんな「ご縁」でまちがあふれること。それが私たちの『ありたい地域』

共生循環型地域社会づくり

年齢や性別、障がいの有無など、垣根にとらわれず、お互いを認め合い、助けられたり助けたりするような関係が循環していくような地域社会づくりをめざした淡路市社協の新たな理念

地域福祉推進計画は、地域住民・地域で活動している団体等が会い、つながり、力を合わせてつくる、地域の福祉をすすめることを目的とした活動・行動計画です。

第三次となる本計画では、住民代表が参加した計画策定委員会を経て「縁があふれるまち推進プラン」を策定し、5年間すすめていきます。



## 1. 私たちのありたい地域とは、「縁（えん）があふれるまち」

これからも住み慣れた地域で暮らし続けるための「ありたい地域」とはどのような地域なのかの意見をうかがったところ、いろんな人との関係性（つながり）の中で、安心して暮らせる地域を望んでいることが見えてきました。

### 「ありたい地域」についての意見

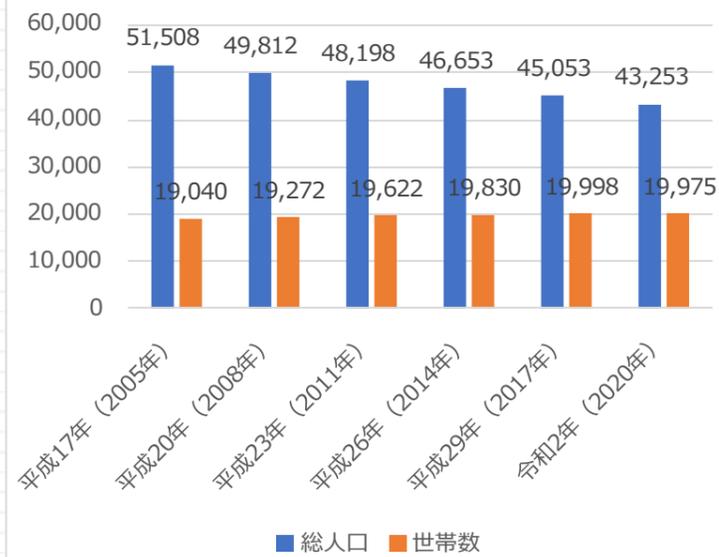
- ・気軽に声をかけあえる
- ・子どもの成長が見守れる
- ・伝統行事を伝えていける
- ・縦のつながりと横のつながりがある
- ・若者が集まれる
- ・地域のリーダーがいる
- ・居場所づくり
- ・認知症の人を見守れる
- ・隣近所が仲良く
- ・あいさつが行き交う
- など

つまり、人と人、人と地域など、いろんな主人公が会い、ふれあい、広がっていくような、そんな「ご縁」でまちがあふれること・・・

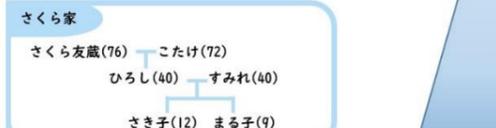
私たちの望んでいる夢とは『縁』があふれるまちであると考えました。

## 2. 淡路市では、「人の変化」と「地域の変化」がすすんでいます

淡路市の人口は、合併から2020年までに8,255人が減少しており、年間およそ500人のペースで減ってきています。一方で、世帯数は増加傾向にあり、1世帯あたりの人数が減っている「単身化」がすすんでいます。



家系図の変遷からみる～お金を稼ぐ・家事・子育て・介護・町内会の役割等



家族構成も、祖父母と同居する3世代モデルが主流だった時代から、親と子のみの世帯である「核家族化」もすすみ、一人ひとりの役割にも変化がみられるようになりました。

小学校、保育所（園）、幼稚園の推移 <平成17年（2005年）→令和2年（2020年）>

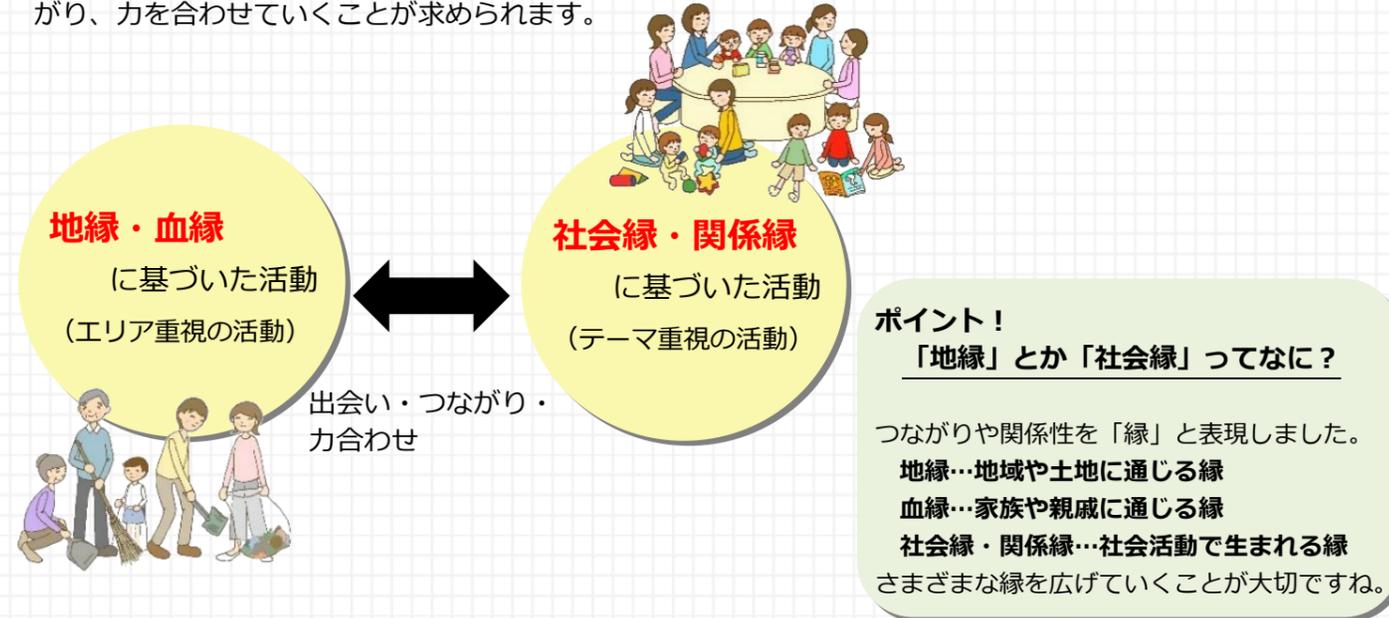
	保育所（園）、幼稚園	小学校
淡路市全体	27 → 16 (事業所 2)	24 → 11
(津名)	8 → 7	7 → 5
(岩屋)	2 → 1	1 → 1
(北淡)	7 → 1	7 → 1
(一宮)	7 → 2	6 → 2
(東浦)	3 → 5 (事業所 2)	3 → 2

地域の小学校や保育所（園）・幼稚園は、統廃合がすすんでいます。かつては学校行事などで会い、つながり、ふれあえていたことが、その圏域が広がったことでつながりが薄れ、若い世代を中心に「地域の捉え方」に変化が見られます。

## 3. 「縁があふれるまち」をめざした活動のポイント

これまでつながりづくりの基盤となっていた「地縁・血縁」の関係だけでは人と人がつながれなくなってきました。

一方で地域には、若い世代を中心としてエリアに捉われない、共通の趣味や目的を通じてつながっている「社会縁・関係縁」のグループなども存在します。これからは、両者を見ながら、それぞれが会い・つながり、力を合わせていくことが求められます。



一方で、1つ1つの地域活動の場面を思い浮かべてみると、以下の4つの層の人たちが存在し、活動者や参加者だけでなく、「不安や悩みを抱えている人」、「未関心層・無関心層」も存在していることが考えられます。

- ① **中心となって活動している活動者**  
→祭りに例えると、「だんじりをつぐ人」や「飾り付けから片付けまでする人」
- ② **活動に賛同している参加者**  
→祭りに例えると、「見に行く人」や「だんじりは担げないけどご祝儀で応援する人」
- ③ **活動に参加したいけど、参加できない不安や悩みを抱えている人**  
→祭りに例えると、「行きたいけど行けない人」や「今は祭りどころの話ではない人」
- ④ **活動を知らない未関心層や活動に関心のない無関心層**  
→祭りに例えると、「まったく興味がない人」や「祭りがあることを知らない人」



「不安や悩みを抱えている人」は、いわゆる「相談の対象者」であり、「未関心層・無関心層」についても、孤立を防ぐためにも発信を続けていくことが大切です。

つまり、普段から自分たちの気持ちやおもい、困りごとが伝えられる居場所やまちづくりが大切です。

これらをもとに、4つの大切にしたいこと・8つの目指したいことを設定し、私たちのありたい地域「縁があふれるまち」をまとめました。

これが地域の活動目標！

# みんなですすめよう!! 「縁があふれるまち」



【目指したいこと2】

地域の宝物(活動)を

みがいていけるまち

【目指したいこと3】

興味・関心で

新しい出会いが出来るまち



【目指したいこと4】

新しい魅力や活動が

生まれるまち



【目指したいこと1】

地域の宝物(活動)を

集められるまち



【目指したいこと8】

いろんな人と力を合わせて

不安を減らせるまち



【目指したいこと5】

人やまちが元気になるための

分かち合えるまち



【目指したいこと6】

暮らしを豊かにする情報が集まり、

幅広く伝え合うまち

【目指したいこと7】

相談したりされたりできる

「おたがいさん」のまち



《大切にしたいこと1》

自分たちのまわりにある

活動の価値を知り、高める



私たちの暮らす地域には、たくさんの活動があります。その活動を知り、盛り上げていきましょう。



※目指したいこと1・2につながります

《大切にしたいこと2》

まだ見ぬ出会いへ

ちょっと踏み出せる



いろんな人やグループとの出会いの中で、新たな魅力や活動が生まれていくかもしれませんね。



※目指したいこと3・4につながります

《大切にしたいこと3》

知ってもらおう・伝えてもらおう



一人ひとりの思いや気持ち、が話せること、知っている情報を話せることで毎日の暮らしが豊かになっていくかもしれませんね。



※目指したいこと5・6につながります

《大切にしたいこと4》

力を合わせて困りごとを解決する



困りごとは人それぞれ。相談したり相談されたりできる「おたがいさん」の関係づくりこそが安心につながります。



※目指したいこと7・8につながります



# 淡路市社協は、「共生循環型地域社会づくり」の理念で『風車型地域福祉活動』をすすめていきます



※風車型地域福祉活動については、次ページ上段をご覧ください。

## 『当事者の主体化と双方向を意識した情報発信』

地域の中で分かち合いの場づくりをすすめます  
出会いが生まれる情報を集め、伝える取り組みをすすめます



### ■ 自分の思いが話せる場づくり

同じ思いや悩みをもつ人同士が出会い、分かち合いや支えあえるきっかけづくりや場所づくりをすすめます。

### ■ 当事者の組織化と継続支援

一人では難しくても、誰かと一緒に知恵と力をあわせて活動できるように、情報提供や仲間づくりを応援します。

### ■ 当事者が参加する福祉学習の推進

いろんな困りごとを乗り越えてきた知恵や工夫を地域で広め、一緒に学ぶ機会を提案します。

### ■ 情報の「受け止め」と「発信」

柔軟で幅広い受信と、宛先を明確にした発信で、地域で生きる情報の活用に取り組みます。

### ■ 住民参加による広報誌づくり

住んでいる人々を主役にした、地域で役立つ広報誌づくりをすすめていきます。

### ■ 継続した「伝える手段」の模索

今ある広報誌だけでなく、時代に合わせた「集める」「伝える」手段を探します。



## 『今あるものを活かした活動づくりと組織化支援』

今ある活動を今一度再認識し、有効に活かせるように考えます

### ■ 継続的な地域分析の実施

常に地域の変化を見ながら、分析を行っています。

### ■ 先進地実践事例に学ぶ

各地で先駆けて取り組んでいる活動を知り、学び、自分たちの地域にも生かせるよう学んでいます。

### ■ 活動が継続できる仕組みづくり

いろんな活動に積極的に参加しながら、継続していけるような応援体制づくりを行います。

### ■ 活動や取り組みなどを情報発信する広報活動

身の回りにあるたくさんの宝物（活動）の価値を分かち合い、支えあいを広げていくきっかけづくりのために、広報活動をすすめています。

### ■ 圏域ごとの地域福祉推進組織化支援

おおよそ旧小学校区ごとに、そこで暮らす人たちが主体的にすすめていく話し合いの場づくりや支えあい活動を応援しています。

### ■ 小地域ごとの福祉計画づくりの支援

それぞれの地域において、こうあってほしいと望む姿や、何とかしたいことなど、自分たちのまちについて話し合う場と、これから取り組んでいくことの計画づくりができるように支援していきます。

### ■ 「共生循環型地域社会づくり」や「集落福祉」について考える場づくり

助けられたり助けたり、支えあいと縁が巡る「地域づくり」と「集落の支えあい」について、気づきと学びを深めています。



(淡路市集落福祉フォーラム)



(富島地区社協 住吉神社の夏まつり)



(東浦あんしんネットワーク会議)



(こどもデイサービス)

## 『新しい活動づくりと多様な主体による協働の推進』

新しい活動による新たなつながりや価値観を模索していきます

### ■ 新しい出会いの場・力合わせの場づくり

人が出会い、力を合わせる場づくりについて、住民の皆さんと話し合いを重ねていきます。

### ■ 地域の人々が活動できる拠点づくり

地元の人が活動・活躍できる拠点や場づくりをすすめ、応援していきます。

### ■ 多様な主体による協働の推進・イベント開発

昔からある町内会やご近所同士のつながりだけでなく、趣味や子どもを通じたグループ、移住してきた人たち、そしてインターネットなどを活用して広がる、大小たくさんの新しいつながりにも注目し、その価値と新たな支えあいを探していきます。

### ■ 世代間の混ざりを意識した協働の場づくり

世代を超えていろんな人や団体が交流・協力しあうきっかけを探していきます。

### ■ NPO・企業や教育機関等との連携、協働した取り組み

幅広い分野から情報を集め、いろんな考え方や方法を柔軟に吸収し、いろんな人や団体と協力して取り組むことができることを目指します。

### ■ 防災をテーマにした集まり

誰もが関係する「防災」をテーマに、身近な人と一緒に考えるきっかけとなるような集まりや企画ができないか考えていきます。

### ■ 人材発掘

多様な才能をもって、様々なことに取り組んでいる方々に出会い、話を聞きながら、その価値が発信できるように、人材発掘・広報活動を続けていきます。



(岩屋地域生活拠点つながり)



(つな福祉まつり)



(育波地区社協 ふれあいの会)



(岩屋つながりねっと)

## 『重層的なネットワークづくりと相互扶助の推進』

不安を安心に変え、多様な主体が相互に支えあうネットワークづくりをすすめます

### ■ 見守り・支えあいをすすめるための「地域座談会」の推進

身近に暮らす人たちが気にかけて、支えあう活動をすすめています。

### ■ 住民を対象にした、気づきの学習会の開催

ひきこもりなど、一つのテーマに絞って気づきと学びの場を企画し、支えあいつながることを目指します。

### ■ 住民・福祉専門職・関係者等が協働して話し合う場づくり

いろんな立場の人たちが話し合えたり情報交換できる場づくりをすすめます。

### ■ 当事者による組織が立ち上がるような活動支援

介護や障がい、子育てなど、いろんな困りごとや不安を、共感や支えあいを通して支えあえる仲間づくりをお手伝いします。

### ■ 共生のまちづくりを支える体制づくり

ともに支えあうまちづくりに向けた体制づくりについて、行政などの関係者と話し合います。

### ■ 淡路市流の新たな相談窓口システムの構築

困りごとや不安を「整理」「見える化」し、その人や地域と一緒に考える窓口づくりをすすめます。また、その場面場面において詳しい人にとにかく聞くなど、淡路市に合った相談体制づくりを探します。

### ■ 事例検討・研究と新たな支援策の構築

複雑化する困りごとを、関係者と話し合い、傾向や対策を分析します。これまでのやり方では難しいことも、新しいメニューの検討や開発で支援していきます。

### ■ 社会福祉法人間連携によるセーフティネットの体制づくり

身近な困りごとや不安に対して、地元の福祉施設や事業所が一緒に考えて協力しあえる体制づくりをすすめます。

### ■ 高齢者福祉・障がい福祉を通じた地域共生づくり

介護、障がいといった分野にとらわれず、「住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていくこと」を支えるため、誰もが役割をもって活躍できる地域づくりをすすめます。



(いづかしの社 移動販売)